








本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

<p>『ようかいじいちゃんあらわる』 最上 一平／作 ・夏休み、ようかいばあちゃんの家に来てきた、すみれちゃん。「おぼんだから、死んでしまったようかいじいちゃんが戻ってきてる」と言われ、家の中をきよろきよろみまわすと、黒い人かげがゆっくりと通りすぎたような…。(小初)</p>	
<p>『シミちゃん』 吉野 万理子 ・「マスクをしちゃうと、ぼく、外が見えなくてつまないんだよーっ!」マークンのお母さんのほっぺにあったシミが逃げ出しました。マークンはシミを追いかけて…。「親子の親密さ」を描いた物語。(小初)</p>	
<p>『おまつりのおばけずかん じんめんわたあめ』 齊藤 洋／作 ・おまつりには、こわ〜いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば、だいじょうぶ!「ひとりでおみこし」「じんめんわたあめ」など、おまつりのこわいおばけの話全7話を収録。(小初)</p>	
<p>『くしゃみおじさん』 オルガ・カブラル／作 ・ハツツクション! ハツツクチン! ハツツプショーイ! おじさんの大きなくしゃみが飛び出すと、あれれ? うさぎやねこ、いぬ、男の子など、みんなヘンテコなかつこうになって…。動物や子どもたちのゆかいなお話。(小初)</p>	
<p>『エリンとまっくら岩のひみつ』 ショー・トット＝スタンソン／さく ・世にも危険な伝説の「まっくら岩」を探検したいエリン。ないしょでママの船に乗り込みますが、まっくら岩の近くで海に落ちてしまい…。信じるもののために立ち上がる勇氣、自然とのやさしい関係を描く。(小初)</p>	
<p>『森の王さま キング・クー』 作／アダム・ストーワー ・いじめられっ子のベンは、体は小さいけれどかっこいい男の子。ひみつの森で出会った、強く元気なナズのひげもじの女の子、キング・クーと力をあわせ、知恵と勇氣でいじめっ子に立ち向かう。痛快ドタバタ友情物語。(小中)</p>	
<p>『どっちでもいい子』 かさい まり／作 ・両方とも好きだから、「どっちでもいい」と言ってしまうはる。小学4年生になった新学期早々、クラスで友人が自分のことを「いてもいなくても、どっちでもいい子」と言うのを聞いてしまい…。(小中)</p>	

『みんなのためいき図鑑』 村上 しいこ／作

・授業参観に向けて「ためいき図鑑」をつくることになった、たのちんの班。保健室登校の加世堂さんもいっしょに図鑑をつくれなかと、たのちんがある提案をしたが、班のほかのメンバーともめてしまい…。
(小中)



『青く塗りつぶせ』 阿部 夏丸／作

・小さな島に暮らす小6のセイは、同級生のカイトが両親の残した借金の問題で、大人たちから自由を奪われそうになっているのを知る。ピンチを救おうと、同級生のミナミは海で集めたものや生きものをネットで売ること提案し…。(小上)



『ヘサニーと屋根裏の秘密』 ジャック・メキット・フィリップス

・511歳にして、大金持ちの美青年!? その裏にはトンデモない秘密が…。屋根裏に住むビーストから不老薬をもらっているワガママ男と、ワルガキ少女が織りなす大騒動、そして奇妙な友情を描く、笑い涙のファンタジー。(小中、小上)



『キプリング童話集』 ラドヤード・キプリング／作

・約120年前、世界中を旅したイギリス人ノーベル文学賞作家キプリングが、わが子に語って聞かせた物語集。「どうしてラクダには、こぶがあるの?」「手紙は、どうやって、はじまったの?」など、全11話を収録。
(小中、小上)



『シロクマが嵐をこえてきた!』 マリア・ファラー／作

・大好きなおばあちゃんの物忘れがひどくなり、マヤは心配と不安でいっぱい。ある嵐の翌朝、おばあちゃんとマヤが海岸で見つけたのは、シロクマだった! シロクマのスーツケースのタグには「ミスターP」と名前が書いてあり…。(小上)



『ぼくの弱虫をなおすには』 K・L・ゴーイング／作

・「こわいものをひとつずつ克服していけば、強くなれるはず」って言われたけど…。1976年、アメリカを舞台に、偏見や人種差別の問題にふれつつ、苦手を克服する子どもたちの成長を描いた物語。(小上)



『かげろうのむこうで 翔の四季 夏』 齊藤 洋／作

・小学生の翔は、高宮さんとその飼い犬と出会い、散歩をたのまれるように…。人には見えないものが見える友だち、仲がいい父と母、同じマンションに住む芸能人。見えること、見えないことのはざままで、もの思う少年の日々を描く。(小上)



『夏休みルーム』 はやみね かおる

・進学塾の特別クラスに通う“ぼく”たちは、受験前の最後の夏をSNSの仮想空間「夏休みルーム」で過ごすことに。だが、楽しいはずのルームで、誰かがぼくを殺そうとしている。犯人は特別クラスのメンバー? それとも…。(小上、中)

